



# JICA NEWS

north  
east  
west  
south

## 青年海外協力隊 サモアOB会らが サモア独立国に義援金を贈呈

**12**月1日(火)、青年海外協力隊サモアOB会が中心となって集めたサモア地震津波義援金の贈呈式が、在日サモア独立国大使館で執り行われた。2009年9月29日(現地時間)に起きたサモア沖地震津波により被災した同国の復旧に役立ちたいという思いから、10月3日に千代田区の日比谷公園で開催された「グローバルフェスタJAPAN2009」などを通して、募金活動を行った。当日は、同OB会会長の大塚一雄(S63/サモア/システムエンジニア)さんの他、募金活動を一緒に行った協和海運株式会社、パシフィックインターナショナル株式会社それぞれの代表が大使館を訪れ、募金者の名簿をサモア大使に手渡した。集まった約460万円の義援金はサモア政府が今回の津波被害のために開設した口座へ送金される。

これを受けたレイアタウア大使は、「本当に多くの方からご支援および義援金を賜り、本当に感謝しております」と謝辞を述べた。また「この支援はサモアの復旧の励みとなり、大変心強い気持ちでいっぱいです」と喜び、3人と固い握手を交わした。サモア政府は被災した村々に合計600余りの家を建てる復興を計画中だが、この義援金をそれらに役立てたい意向。協力隊OBたちのささやかな活動が形となり、サモアの人たちの支援に活かされることになる。



サモア大使(左)と握手を交わす大塚さん(右)。